

四国遍路・法螺貝と子供たち

八王子市 岡 光子

堀江承豊師の先達で、二年に渡って行われる四国八十八ヶ寺巡拝の旅は、今回が四回目の香川編で結願の旅であった。あいにく三月十一日の東日本大震災と福島原発の事故が重なり、四月四日から七日までの三泊四日の旅は、五月二十三日から二十六日に変更して行われた。

そして被災地へのお見舞いと、亡くなられた方たちのご供養と、被災された皆様の復興への祈りの旅になったのである。丁度、この時期は梅雨に入ってしまったので八十七番札所の長尾寺は雨になつていた。お寺の境内はかなりぬかるんでいて、「じりこい」ですから足元に気をつけてと瀬戸内バスの先達さんが注意をして下さった。

堀江師は、雨具の合羽を着て大きくて見事な法螺貝の綱を肩にかけ、巡拝のための法具を持っておられるので大荷物だ。なのに、今回は、結願である

のと、最後の大窪寺のお薬師様が「薬壺ではなく法螺貝を持つておられる珍しいお姿なので」と御本尊様の話をされ、お薬師様が法螺貝を吹き鳴らすことは、いろいろな災難を吹き払うのだと話して下さいました。そして、本堂に着くと直ぐ法螺貝を吹かれた。

その鳴動が静かなお寺の全域に行き渡り、あたりが清浄な空気に包まれると私たちは、お線香を供え、ローソクを立て、本堂と大師堂へお参りをし、般若心経と御詠歌をお唱えする。

長尾寺境内でのことである。法螺貝を吹く姿を見ていた小学生たちが大勢引率の先生に集められ、社会科の勉強が始まった。そと傍に近寄って何気なくそのお話を伺うと四年生の児童は、受け持ちの先生のお話を聞いて首から下げたガパンに鉛筆を走らせている。なぜ、沢山の人が四国遍路に来てお寺を次々お参りして廻るのかということや、弘法大師の成し遂げられた功績を聞いて一生懸命メモを取っている。「このあいだ、縄文遺跡から掘り出された法螺貝に似た土笛は、呼子の役目をしたり、離れた人との交信や伝達に役立つのね、法螺貝も同じです。やまびこ(山彦)やこだま(木霊)は、遭難した時の合図になったり、人と人の通信に使われたりします。戦国時代には戦場で、戦意を向上させるために法螺貝は使われましたね」などと大きな声で話されている。しかし、子供たちの耳と目はお坊さん姿の堀江師に集中していた。私たちが四国遍路の先達さんに促されて次のお寺へ行く準備をしていると子供たちは一斉に受け持ちの先生の止めるの



子供たちと堀江師(長尾寺にて)

も聞かず法螺貝を持った堀江師の周りに集まってきてしまった。そして、目を輝かせて堀江師の話を聞きだした。山伏が山に入って修行をする時の法螺貝の役目や貝の形や鳴らし方である。そのうちに「法螺貝に触りたい」とか、「吹き方を教えてくれ」とか、矢継ぎ早に出る子供たちの質問にも嫌な顔一つせず答えておられる。子供たちは博物館で聞くような引率の先生の説明には満足できなかったのだらう。

私がかつて、法螺貝がサンゴを食い荒らすオニヒトデを食べてしまうのだということや物の本で読んだことがあった。南の海でサンゴが育つとき、サンゴを食べてしまうオニヒトデの天敵が法螺貝なのだ。こうして邪悪なものを退治してくれる法螺貝にあやかつて法螺貝を吹くと厄難を吹き払い福をもたらすということに結び付けた昔の人の知恵を讀えたと思った。

法螺貝を立てる(鳴らす)ことは特別な技がいるのだらう。堀江師は見事に吹かれる。法螺貝はまた、山の上がまだ開かれていない時にこれを吹くと獣を驚かし、山へ修行に入つた人たちの身を守つたのだという。また、法螺貝の鳴動は如来様の説法であつて一度この音を聞くと、何か心が穏やかになつて安らぐ。また人々は、法螺貝を吹くのを聞いて、厄難を払い見えない力に守られたいと願うのである。

最後に、私たちは無事結願詣での旅を終え高野山へお礼参りが出来た。高野山では奥之院までの道に芭蕉の句碑が建つていた。

ちちはの しきりに恋し
雉の声 芭蕉
小堀遠州・作庭のある別格
本山の天徳院で、堀江師は内
陣へ通され、私達は父母の供養
をして頂くことが出来たので
ある。

第六回高尾山健康登山親睦会の集い

去る十月九日(日)第六回高尾山健康登山親睦会の集いが行われ、百二十名程の会員の方が参加された。



第6回 高尾山健康登山親睦会の集い

第6回 高尾山健康登山親睦会の集い



親睦会では波多野重雄会長と大山隆玄貫首のご挨拶の後、昨年好評であったベリータンズ(中東及びアラブ文化圏で発展したダンススタイル)やピョンゴ大会が行われ、会員の皆様は大いに盛り上がり楽しいひと時を過ごされた。

智山専修学院生 来山

去る九月二十七日、真言宗智山派の専修学院の修行僧二十四名と引率の本山僧侶二名が高尾山に来山された。



四国八十八ヶ所お遍路の旅 ～第一回～ 徳島編

阿波編 札所1番(霊前寺)～ 23番(薬王寺)

出発日：平成24年4月2日(月)～4月5日(木) 3泊4日

- 参加代金： ¥99,000 ～ ¥109,000
- 集合場所： 羽田空港 午前7時～9時(予定)
- 行程： 羽田＝徳島 往復飛行機 現地はバス利用
- 宿泊予定： ①②徳島市内 2泊 ③阿南 1泊 和室又は洋室利用 定員利用
- 企画： 高尾山薬王院より先達が同行いたします 四国内行程中全食事付
- 企 画： 高尾山薬王院
- 旅行主催： 読売旅行 大手町営業所 担当：中嶋
- 〒104-8243 中央区銀座6-17-1 読売新聞東京本社1階

電話：03-6226-7685 ファックス：03-6226-7681

お問い合わせ、お申し込みは、読売旅行大手町営業所担当者まで御連絡下さい